

JP 8月4日（日）国際都市おおた蒲田駅前にて 大田区主催イベント！ “大蒲田祭” “阿波踊り” “打ち水大会” “神輿担ぎ” の部。

IT 4 Agosto, Distretto Internazionale di Ota, Stazione di Kamata, su iniziativa del Municipio di Ota: I particolari su “Gran Kamata Festival” e “Danze tradizionali”.

～ 活動レポート/Activity Report ～

**(Japanese only)**

8月4日（日）大田区蒲田駅前にて大田区主催イベント！

西口は、“蒲田で夏をもっと楽しもう” という “西口緑口” & “Brazil X Ota おおた夏アクションデー for 東京 2020”。“ブラジル選手団の事前キャンプを区内で実施することに伴い、大田区では選手と区民との交流やブラジル文化の学習など、スポーツ・教育・文化の振興に係る様々な取り組みを行なっています。今回はその一環で、キッチンカーによるブラジル料理を提供”。他の店舗では、カキ氷（1店舗）、射的（1店舗）、スーパーボールすくい（1店舗）、OH 茶（西蒲田7丁目の台湾 OH 茶&大衆酒場西蒲田横丁から1店舗）、羽田バルの大田区産ビール（西蒲田7丁目の羽田バルから1店舗）、ひつじ kitchen（西蒲田5丁目の hitsuji kitchen から1店舗）、カツオの塩タタキと日本酒ハイボールの蔵屋（西蒲田7丁目の和 馳走 蔵屋 wa chisou KuRaYa から1店舗）。西口緑口では合計で8店舗。次は、スポーツコーナー。ボルダリング、サーフィンコーナー、イタリア発祥のボッチャコーナー、バスケ 3x3 コーナー（アースフレンズ東京 Z プロバスケットチーム）、ホッケーコーナー。“みんなの輝き、繋げていこう！ Unity in diversity”ということで、東京 2020 ホストシティー・インフォメーション&営業部も設置。同時に、トークショー！スペシャルゲストでは、NHK“あさいち”レギュラー出演中の俳優&タレントの副島淳（そえじま・じゅん）氏と、2004年のアテネオリンピックで女子レスリング銅メダルの浜口京子（はまぐち・きょうこ）氏も。

東口では、“大蒲田祭” & “打ち水大会”。大田区長・松原忠義（まつばら・ただよし）氏と東口商店街の関係者の方々からのご挨拶：今年度は11年目の打ち水大会、令和時代の一番初めの打ち水大会。更に、大田区役所“くすのき連”による阿波踊り（あわおどり）。最後に、みんなで国際都市の横断幕を掲げ、蒲田南1丁目・2丁目等の神輿担ぎを鑑賞。帰宅中、横断幕の写真を提供してくれたトルコ出身の大使 Kerem さんのトルコ料理店（蒲田駅東口商店街・蒲田5丁目の Yildiz）にご挨拶。

東京都大田区 2019年8月4日

G., E. ダビデ

















2019年8月15日(木) 15

**持続的発展へ 考えるシンポ**  
仙北市

山形県産フルーツジュース使用  
**クラフトビール販売**  
長井市 地元・東京の企業橋渡し

お風呂上がりにお勧めの「銭湯ビール」(右)と黒湯ビール(左)を持つ大田の大塚幸子社長、大田区西蒲田の羽田バル (斎藤有美撮影)

「お風呂上がりにお勧めの「銭湯ビール」(右)と黒湯ビール(左)を持つ大田の大塚幸子社長、大田区西蒲田の羽田バル (斎藤有美撮影)」。この文章は、記事の冒頭部分を示している。記事は、大田区産のビールが、銭湯文化と結びついて人気を集めていることを紹介している。大塚幸子社長は、地元産のフルーツジュースを使用したクラフトビールを開発し、東京の企業と協力して販売している。このビールは、お風呂上がりや暑い季節に飲むのに最適な味とされている。記事は、大田区のビール産業の発展と、地域産品の活用について詳しく説明している。

**大田区産原料でビール**  
麦・ホップ・酵母活用、商品化へ

事業者連携、訪日客を開拓

大田区産の麦、ホップ、酵母を活用し、クラフトビールを開発している。事業者間の連携により、訪日客を開拓し、地域産品の活用を促進している。記事は、大田区のビール産業の現状と、今後の発展について詳しく説明している。

平成30年8月  
産経新聞 掲載

21 (東京) 15版 平成30年(2018年)12月1日

**風呂上がりにぴったりに**

お風呂上がりにお勧めの「銭湯ビール」(右)と黒湯ビール(左)を持つ大田の大塚幸子社長、大田区西蒲田の羽田バル (斎藤有美撮影)

大田の醸造所が「銭湯専用ビール」

味は2種類、黒湯をイメージした「黒湯ビール」は、今夏から販売を開始し、味はしっかりしているが飲みやすい。さらばりといっている。飲みやすい「銭湯ビール」は今秋から販売。もちろん、風呂上がりの時以外でもおいしく飲める。

区内の銭湯と羽田バルで販売中。銭湯ではそれぞれ650円。羽田バルでは600円で提供している。年明け以降は他区での販売も検討している。販売状況は銭湯によって異なるので要確認。

2018年8月 日刊工業新聞 掲載

2018年8月 日刊工業新聞 掲載

**東京ビールお土産に**

クラフト 新名物に名乗り

飽きない味 追求  
香り・色合いにこだわり

英の伝統的製法受け継ぐ

この1杯 万個

「この1杯」は、大田区産のビールを特集した記事。記事は、大田区のビール産業の現状と、今後の発展について詳しく説明している。記事は、大田区のビール産業の現状と、今後の発展について詳しく説明している。

平成30年朝日新聞 掲載

**この1杯 万個**

「この1杯」は、大田区産のビールを特集した記事。記事は、大田区のビール産業の現状と、今後の発展について詳しく説明している。記事は、大田区のビール産業の現状と、今後の発展について詳しく説明している。









つづく